

I 日本の学問・教育の歴史に関する以下のA～Cの文章を読み、問1～問15に対する答えを選択肢より一つずつ選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークせよ。

## A

古墳時代の朝鮮半島や中国との交渉のなかで漢字の使用がはじまり、儒教をはじめとする学術が支配層に受け入れられた。7世紀頃から派遣された遣隋使、遣唐使には留学生・学問僧が同行し、中国から新しい知識を伝えた。律令制下では、官吏養成のために中央には大学、地方には国学がおかれた。平安時代になると、貴族は一族子弟の教育のために大学別曹をもうけた。鎌倉時代には金沢文庫が設けられ、和漢の書物が集められた。室町時代には、臨済宗寺院の留学僧によって、水墨画や建築様式などが広く伝えられ、宋学の研究や漢詩文の創作がおこなわれた。また南北朝から室町時代にかけて公家は、有職故実の学問や古典の研究をおこない、研究書や注釈書を残した。また応仁の乱により、荒廃した京都から地方へくだった公家により、中央の文化が伝えられた。

問1 下線部(ア)の遣隋使・遣唐使に同行した留学生・学問僧であるのは、次のうちどれか。

1

- ① 行基
- ② 橘諸兄
- ③ 玄昉
- ④ 藤原広嗣
- ⑤ 道鏡

問2 下線部(イ)に関する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

2

- ① 大学の教科は、五経などの儒教の經典を学ぶ明経道などの諸道があった。
- ② 入学者は、大学は貴族の子弟など、国学は郡司の子弟らを優先した。
- ③ 大学の学生は、大学を修了したのち、試験に合格して官人となった。
- ④ 大学別曹には、和氣氏の弘文院、藤原氏の勸学院などが知られる。
- ⑤ 最澄が創設した綜芸種智院は、庶民にも教育の門戸を開いた。

問3 下線部(ウ)に関するできごと a～c を古いものから年代順に正しく並べたものはどれか。

3

- a 雪舟が活躍した。
- b 夢窓疎石が將軍の帰依を受けた。
- c 絶海中津が活躍した。

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

問4 下線部(エ)に関連して、著書と著者の組み合わせで、最も適切なものはどれか。

4

- ① 花鳥余情・後醍醐天皇
- ② 公事根源・北畠親房
- ③ 建武年中行事・北畠親房
- ④ 職原抄・一条兼良
- ⑤ 樵談治要・一条兼良

問5 下線部(オ)に関連して、室町時代の文化・教育に関する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

5

- ① 日明貿易で繁栄していた大内氏の城下町山口には、文化人が多く集まった。
- ② 肥後の菊池氏や薩摩の島津氏は、桂庵玄樹を招いて儒学の講義を聞いた。
- ③ 万里集九は、中部・関東地方の各地をめぐり、すぐれた漢詩文を残した。
- ④ 関東管領上杉禅秀が足利学校を再興し、禅僧や武士に高度な教育がほどこされた。
- ⑤ 地方の武士の子弟は寺院に預けられ、『庭訓往来』などによる教育を受けた。

## B

江戸時代には室町時代の五山の禅僧が学んでいた朱子学を中心に、儒学が幕府や藩に受け入れられ、さかんになった。18世紀の初めには、オランダを中心とするヨーロッパの学問を学ぶ洋学がはじまった。一方日本の古典をめぐる研究がすすみ日本古来の道を説く国学として発達した。これらの学問・思想の新たな動きに対して、幕府は幕府直営の学問所をもうけ、全国の藩は藩校を設立した。また、民間でも武士・学者・町人により私塾が開かれた。

明治政府は近代化のために教育制度を整備した。近代的な学問は、留学や欧米から招いた多くの学者に学ぶ形で本格的にはじまったが、やがて日本人自身の手で各分野の専門研究・教育ができるようになった。

問6 下線部(ア)に関する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

6

- ① 京都相国寺の禅僧であった藤原惺窩は、還俗して朱子学の啓蒙につとめた。
- ② 林羅山は徳川家宣に用いられ、羅山の子孫は代々儒者として幕府に仕えた。
- ③ 徳川綱吉は、林羅山が江戸上野忍ヶ岡に設けた孔子廟と家塾を湯島に移した。
- ④ 徳川家宣は、朱子学者の新井白石らを信任して政治の刷新をはかろうとした。
- ⑤ 寛政の改革において、儒官に柴野栗山・尾藤二洲・岡田寒泉が任ぜられた。

問7 下線部(イ)に関する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

7

- ① 徳川吉宗は、平賀源内にオランダ語を学ばせ、洋学の基礎をつくった。
- ② 前野良沢や杉田玄白らは、『解体新書』で西洋医学の解剖書を訳述した。
- ③ 稲村三伯は、蘭日辞書である『ハルマ和解』をつくった。
- ④ 賀茂真淵は、日本の古代思想を追究し、『国意考』を著した。
- ⑤ 本居宣長は、国学を思想的にも高めて『古事記伝』を著した。

問8 下線部(ウ)に関連して、私塾と設立者との組み合わせで、誤りを含むものはどれか。

8

- ① 鳴滝塾・シーボルト
- ② 古義堂・伊藤仁斎
- ③ 適々斎塾(適塾)・大槻玄沢
- ④ 洗心洞・大塩平八郎
- ⑤ 護園塾・荻生徂徠

問9 下線部(エ)に関するできごと a～c を古いものから年代順に正しく並べたものはどれか。

9

- a 文部省設置
- b 教育令公布
- c 学制公布

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

問10 下線部(オ)に関連して、自然科学者とその業績の組み合わせで、誤りを含むものはどれか。

10

- ① 北里柴三郎・ペスト菌発見
- ② 長岡半太郎・原子構造の研究
- ③ 牧野富太郎・植物の分類法
- ④ 志賀潔・ビタミンB<sub>1</sub>抽出
- ⑤ 田中館愛橘・地磁気の測定

## C

就学率の上昇を背景に大正時代には高等教育機関も拡充された。そうした中で、労働者やサラリーマンなどの一般勤労者を中心に大衆文化が誕生した。さらに大正デモクラシーの風潮のもとで、自由主義が主張される一方で、マルクス主義が知識人に大きな影響を与えた。学問や思想の分野でもさまざまな著作があらわされた。

戦争がすすむと国家主義的教育が推進され、朝鮮・台湾でも皇民化政策がとられた。さらに学徒出陣や学生・生徒の勤労働員がおこなわれた。

戦後民主化においては、教育制度の自由主義的改革も重要な柱のひとつであった。高度成長期においては人文・社会科学分野の研究が進み、さらに自然科学でも成果があげられた。高等教育の大衆化が進み、高校や大学などで学園の民主化をもとめて「学園紛争」がおこった。

問11 下線部(ア)に関する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

11

- ① 日露戦争後の1907年には、小学校の就学率が60%に達した。
- ② 中学校（旧制）の生徒数が急増し、1930年には約34万人になった。
- ③ 1918年に制定された高等学校令にもとづいて高等学校の増設が進められた。
- ④ 1918年に大学令が制定され、公立・私立の大学の設置が認められた。
- ⑤ 大学生の数は、1930年には約7万人に増加した。

問12 下線部(イ)に関する以下の記述のうち、最も適切なものはどれか。

12

- ① 榊田民蔵らの労農派と猪俣津南雄らの講座派のあいだで論争がおこなわれた。
- ② 和辻哲郎は、『日本書紀』『古事記』に科学的分析を加えた。
- ③ 津田左右吉は、民間伝承の調査・研究を通じて、民俗学を確立した。
- ④ 西田幾多郎は、『善の研究』を著して独自の哲学体系を打ち立てた。
- ⑤ 柳田国男は、仏教美術や日本思想を研究し『古寺巡礼』をあらわした。

問13 下線部(ウ)の政策で1941年に小学校が改められたのは次のうちどれか。

13

- ① 尋常小学校
- ② 高等小学校
- ③ 国民学校
- ④ 実務学校
- ⑤ 初等学校

問14 下線部(エ)に関するできごと a～c を古いものから年代順に正しく並べたものはどれか。

14

- a 教育委員会設置
- b 教職追放
- c 学校教育法制定

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

問15 下線部(オ)に関連して、高度成長期の文化や科学に関する以下の記述のうち、最も適切なものはどれか。

15

- ① 三島由紀夫の作品は「中間小説」と呼ばれた。
- ② 純文学では司馬遼太郎らが活躍した。
- ③ 手塚治虫は本格的なストーリー漫画を創作した。
- ④ 1970年には大学・短期大学進学率が82.1%に達した。
- ⑤ 1950年代半ば以降、原子力発電所の建設が進められた。

Ⅱ 以下のA～Cの史料を読み、問1～問9に対する答えを選択肢より一つずつ選び、解答用紙の所定の欄にマークせよ。

## A

一に曰く、和を以て貴しと為し、忤ふること無きを宗と為よ。

(中略)

十七に曰く、夫れ事は独り断むべからず。必ず衆と論ふべし。

問1 史料Aに関する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

16

- ① 史料Aが定められた時代、蘇我馬子や厩戸王らが協力して国家組織の形成を進めた。
- ② 史料Aが定められる以前、中国で隋が南北朝を統一した。
- ③ 史料Aは豪族たちに国家の官僚としての自覚を求めたものであった。
- ④ 史料Aは仏教を政治理念として重んじるものであった。
- ⑤ 史料Aが定められた翌年に冠位十二階が定められ、氏族ではなく個人に冠位が与えられるようになった。

問2 史料Aが定められたあと、中央集権の確立と国内統一を進めた時代についての以下の記述のうち、最も適切なものはどれか。

17

- ① 中国を統一した唐が朝鮮半島の新羅への侵攻を始めた。
- ② 蘇我入鹿が厩戸王の甥である山背大兄王を滅ぼして権力集中をはかった。
- ③ 中大兄皇子は、王族中心の中央集権をめざし、蘇我稻目・入鹿をほろぼした。
- ④ 皇極天皇の譲位を受け、軽皇子が即位して孝徳天皇となった。
- ⑤ 大王宮が藤原京から飛鳥に移され政治改革が進められた。

問3 史料Aが定められた時代に蘇我氏によって創建されたとされるのは、次のうちどれか。

18

- ① 飛鳥寺
- ② 百済大寺
- ③ 四天王寺
- ④ 法隆寺
- ⑤ 薬師寺

## B

(前略)

一 諸国守護人奉行の事

右、右大将家の御時定め置かるる所は、大番催促・謀叛・殺害人(略)等の事なり。

(中略)

一 問状の御教書を帯び、狼藉を致す事

右、訴状に就きて問状を下さるゝは定例なり。しかして問状を以て狼藉を致すこと、奸濫の企て罪科遁れ難し。申す所 顕然の僻事たらば、問状を給すること一切停止せらるべし。

問4 51カ条からなる史料Bに関する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

19

- ① 史料Bは、頼朝以来の先例や武士社会の慣習・道徳にもとづいて制定された。
- ② 史料Bは、守護や地頭の任務と権限をさだめ、御家人同士や御家人と荘園領主とのあいだの紛争を公平に裁く基準を明らかにした。
- ③ 史料Bの下線部は、大犯三カ条といわれ、なかでも「大番催促」は、御家人に幕府御所を警護する鎌倉番役を求めるものであった。
- ④ 史料Bは、幕府の勢力範囲を対象としたもので、朝廷の支配下では律令の系統を引く公家法が効力をもっていた。
- ⑤ 史料Bは、のちの室町幕府のもとでも基本法典としてあつかわれていた。

問5 史料Bに関するできごと a～c を古いものから年代順に正しく並べたものはどれか。

20

- a 史料Bの制定
- b 評定衆の設置
- c 承久の乱

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a



問6 史料Bが制定された時代の宗教の開祖と主要著書の組み合わせで、正しいものはどれか。

21

- ① 法然・選択本願念仏集
- ② 親鸞・正法眼蔵
- ③ 栄西・教行信証
- ④ 道元・立正安国論
- ⑤ 日蓮・興禅護国論

## C

鎌倉元の如く柳営たるべきか，他所たるべきや否やの事（中略）以前十七箇条，大概斯くの如し。（中略）遠くは延喜・天曆兩聖の徳化を訪ひ，近くは義時・泰時父子の行状を以て，近代の師となす。殊に万人帰仰の政道を施されば，四海安全の基たるべきか。

問7 史料Cが足利尊氏によって発表されたのは，どの天皇が立てられたときか。

22

- ① 光明天皇
- ② 光厳天皇
- ③ 後光厳天皇
- ④ 花園天皇
- ⑤ 崇光天皇

問8 史料Cが発表された前後のできごとに関する以下の記述のうち，誤りを含むものはどれか。

23

- ① 後醍醐天皇は京都に戻ると光厳天皇を廃して，年号を建武と改めた。
- ② 後醍醐天皇は，幕府も院政も摂政・関白も否定して，天皇への権力集中をはかった。
- ③ 足利尊氏は，北条高時が反乱をおこした中先代の乱を機に，関東にくんだり，後醍醐天皇に反旗をひるがえした。
- ④ 足利尊氏が征夷大將軍に任ぜられ，弟の足利直義と政務を分担して政治をとった。
- ⑤ 楠木正成や新田義貞が戦死するなど，形勢は後醍醐天皇の側が不利であったが，北畠親房らが中心となり抗戦を続けた。

問9 史料Cが出された前後のできごと a～c を古いものから年代順に正しく並べたものは  
どれか。

24

- a 南北朝の合体が実現した。
- b 半済令がはじめて発布された。
- c 中国で朱元璋が明を建国した。

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

Ⅲ 以下のA～Cの作品を見て，問1～問9に対する答えを選択肢より一つずつ選び，解答用紙の所定の欄にマークせよ。

A



問1 この作品の作者は次のうちどれか。

25

- ① 住吉如慶
- ② 菱川師宣
- ③ 野々村仁清
- ④ 尾形光琳
- ⑤ 宮崎友禅

問2 この作品が作られた前後の時代についての以下の記述のうち，誤りを含むものはどれか。

26

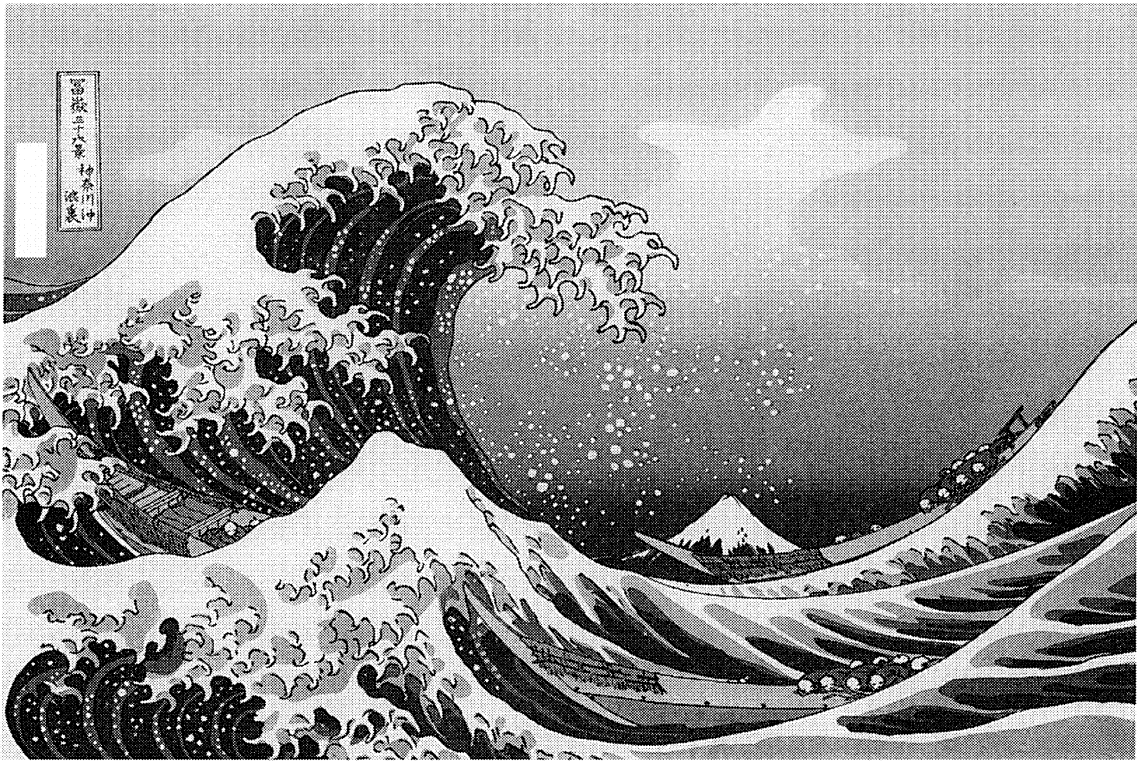
- ① 土佐で開かれたとされる朱子学一派である南学（海南学派）が谷時中に受け継がれた。
- ② 南学の系統である山崎闇斎は，神道を儒教流に解釈して垂加神道を説いた。
- ③ 中江藤樹や門人の伊藤仁斎は，明の王陽明が始めた陽明学を学んだため，幕府から警戒された。
- ④ 孔子，孟子の古典に直接立ち返ろうとする古学派が，山鹿素行らによって始められた。
- ⑤ 荻生徂徠は政治・経済に関心を示し，統治の具体策を説く経世論に道を開いた。

問3 この作品が作られた時代についての以下の記述のうち、最も適切なものはどれか。

27

- ① 4代将軍に11歳の徳川家綱がなると、大老の堀田正俊が補佐した。
- ② 将軍家綱の時代に、末期養子の禁止が厳格化され、大名家の取り潰しが増えた。
- ③ 5代将軍に徳川綱吉がなると、会津藩主の保科正之が補佐した。
- ④ 将軍綱吉は、荻原重秀による収入増の方策としての貨幣の改鑄の上申を採用した。
- ⑤ 6代将軍に徳川家継がなると、側用人の田沼意次が補佐した。

B



注) 上の作品は一部に加工が施されています。

問4 この作品の作者は次のうちどれか。

- ① 葛飾北斎
- ② 歌川広重
- ③ 歌川国芳
- ④ 東洲斎写楽
- ⑤ 喜多川歌麿

問5 この作品が作られた時代のできごと a～c を古いものから年代順に正しく並べたものはどれか。

29

- a 大塩の乱
- b 異国船打払令の発令
- c 天保の改革

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

問6 この作品が作られた前後の時代についての以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

30

- ① 江戸に流入した貧民の帰郷を強制する人返しの法が発せられた。
- ② 物価騰貴の原因は株仲間の商品流通の独占にあると判断され、株仲間の解散が命じられた。
- ③ 江戸を取り巻く関東の農村での治安の乱れに対して、犯罪者を取締る関東取締出役が設けられた。
- ④ 大塩門弟を称する国学者生田万による江戸町奉行所襲撃など、各地で不穏な動きが続いた。
- ⑤ 渡辺崋山の『慎機論』や高野長英の『戊戌夢物語』などにより幕府の対外政策が批判された。

C



問7 この作品の作者は次のうちどれか。

31

- ① ワーグマン
- ② ビゴー
- ③ キヨソネ
- ④ ラゲーザ
- ⑤ フォンタネージ

問8 この作品が作られた時代についての以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

32

- ① 政府の弾圧や不況下の増税に対する反発から、自由党员や農民が福島事件などの直接行動をおこした。
- ② 自由党は、運動資金の不足もあって、加波山事件の直後に解党した。
- ③ 大井憲太郎らが、明治政府を武力で打倒しようと企て、東京で検挙された。
- ④ 立憲改進黨は、党首大隈重信らが離党し、事実上の解党状態におちいった。
- ⑤ 政府は保安条例を公布して、民権派を東京から追放した。



問9 この作品が風刺した時代についての以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

33

- ① 1882年に伊藤博文らをヨーロッパに派遣して憲法調査にあたらせた。
- ② 1884年に華族令を定め、将来の上院（貴族院）の土台をつくった。
- ③ 1885年に太政官制を廃して内閣制度を制定した。
- ④ 1886年末頃から伊藤博文を中心にして、憲法草案が作成された。
- ⑤ 1889年に大日本帝国憲法が発布・施行された。

IV 以下のA～Cの文章を読み、問1～問9に対する答えを選択肢より一つずつ選び、解答用紙の所定の欄にマークせよ。

## A

第一次世界大戦は、明治後期からの不況と財政問題とを大きく改善した。第一次世界大戦が終結すると、開戦以来の好景気とは打ってかわって、日本経済は苦境に立たされることになった。ついで日本経済は、1923年の関東大震災によって大きな打撃をうけた。こうして、不況が慢性化する中、金融恐慌がおこった。さらに、1929年からの世界恐慌によって、日本は深刻な恐慌状態である昭和恐慌におちいった。この中で各種農産物の価格は暴落し、生糸輸出が激減して、農家の困窮は著しく農業恐慌となった。その後、日本は金本位制を放棄して管理通貨制度に移行した。また、円相場の大幅な下落を追い風に、輸出を伸ばして景気回復をはたしたが、列強からはソーシャル＝ダンピングと非難された。

問1 下線部(ア)に関する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

34

- ① 世界的な船舶不足のために、海運業、造船業は好況となった。
- ② 好況が資本家を潤し成金を生み出す一方で、物価の高騰で苦しむ多数の民衆も存在した。
- ③ 薬品などの分野では、ドイツからの輸入がとだえたため、化学工業が勃興した。
- ④ 大規模な水力発電事業が展開され、猪苗代・東京間の長距離送電が成功した。
- ⑤ 工業の躍進により工場労働者が増加した結果、工業人口が農業人口をこえた。

問2 下線部(イ)の金融恐慌に関する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

35

- ① 銀行は、関東大震災により決済不能となった震災手形をかかえた。
- ② 銀行は、日本銀行の特別融資で一時をしのいだが、震災手形の決済はすすまなかった。
- ③ 片岡直温蔵相は、議会での震災手形の処理法案を審議する過程で失言し、取付け騒ぎがおこった。
- ④ 若槻礼次郎内閣は、台湾銀行を緊急勅令によって救済しようとしたが、元老院の了承がえられなかった。
- ⑤ 田中義一内閣は、3週間のモラトリアムを発し日本銀行からの巨額の救済融資をおこない、金融恐慌をしずめた。

問3 下線部(ウ)の管理通貨制度に移行する措置をとった内閣は次のうちどれか。

36

- ① 田中義一内閣
- ② 浜口雄幸内閣
- ③ 若槻礼次郎内閣
- ④ 犬養毅内閣
- ⑤ 斎藤実内閣

## B

戦争によって日本経済は壊滅的な打撃をうけた。GHQは、日本を平和国家とするために経済の民主化をすすめようとした。極度の物不足や戦後処理などで通貨が増発されたためにインフレーションが発生した。政府は経済復興の施策をおこなった。中国内戦で中国共産党の優勢が明らかになった1948年以降、GHQは占領政策を日本の経済復興をすすめるものに転換した。1950年に朝鮮戦争が始まると、朝鮮特需によって日本経済は活気を取り戻し、工業生産などが戦前の水準を回復した。

問4 下線部(ア)に関連して、傾斜生産方式を始めたのは次の内閣のうちどれか。

37

- ① 幣原喜重郎内閣
- ② 第1次吉田茂内閣
- ③ 片山哲内閣
- ④ 芦田均内閣
- ⑤ 第2次吉田茂内閣

問5 下線部(イ)の前後のできごと a～c を古いものから年代順に正しく並べたものはどれか。

38

- a 衆参両院議員選挙がおこなわれ、日本社会党が衆議院第一党となった。
- b 財政学者シャウプによる勧告がおこなわれ、税制改革がおこなわれた。
- c 北朝鮮が北緯38度線をこえて南下し、朝鮮戦争が開始された。

- ① a → b → c
- ② a → c → b
- ③ b → a → c
- ④ b → c → a
- ⑤ c → a → b
- ⑥ c → b → a

問6 この時代の文化についての以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

39

- ① 理論物理学者の湯川秀樹が日本人ではじめてノーベル賞を受賞した。
- ② あらゆる分野の科学者を代表する機関として日本学術会議が設立された。
- ③ 鹿苑寺金閣の焼失をきっかけとして、文化財保護法が制定された。
- ④ 1951年から民間ラジオ放送が開始された。
- ⑤ 『中央公論』が復刊され、『世界』『思想の科学』が創刊された。

## C

1950年代後半から1960年代にかけて、日本経済は復興から技術革新による経済成長へと舵<sup>(ア)</sup>を切り、1955～73年に年平均10%前後の経済成長をとげた。高度経済成長期には、日本の社会が大きく変容した。日本の経済成長は、世界経済の繁栄の一環でもあったが、アメリカの金とドルの交換を停止するなどを内容とするニクソン＝ショックや石油危機<sup>(イ)</sup>のなかで、その条件を失っていった。日本の高度経済成長は終焉を迎えたが、安定成長を維持していた。しかし、1980年代後半には地価や株価が暴騰するバブル経済に突入し、1990年代にバブル経済が崩壊すると日本経済は長期にわたる不況で低迷した。

問7 下線部(ア)に関する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。

40

- ① 日本的経営の特徴は終身雇用・同一労働同一賃金・労使協調とされる。
- ② 産業構造が高度化し、第一次産業の比重が下がり、第二次・第三次産業の比重が高まった。
- ③ 安価な原油を前提として、石炭から石油へのエネルギー転換が急速にすすんだ。
- ④ 1960年代後半から、カー（自動車）・カラーテレビ・クーラーのいわゆる3Cの普及率が上昇した。
- ⑤ 食生活で洋風化が進み、米の供給過剰により1970年から減反政策がはじまった。

問8 下線部(イ)のニクソン＝ショックの時点の内閣は次のうちどれか。

41

- ① 佐藤栄作内閣
- ② 田中角栄内閣
- ③ 三木武夫内閣
- ④ 福田赳夫内閣
- ⑤ 大平正芳内閣

問9 下線部(ウ)の時代に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

42

- ① 1980年代前半には3%前後の経済成長率に落ち込み、欧米先進諸国と比べても相対的にひくい経済成長率となった。
- ② 「軽薄短小型産業」から「重厚長大型産業」への産業構造の転換がおきた。
- ③ 日本の貿易赤字が大幅に拡大し、欧米諸国とのあいだに貿易摩擦がおこった。
- ④ 北海道拓殖銀行・日本債券信用銀行・日本長期信用銀行が破綻した。
- ⑤ 宮沢喜一内閣の下ではじめて消費税が導入された。